

中国四国教育学会第 76 回大会報告

中国四国教育学会事務局

〒739-8524 東広島市鏡山 1-1-1

広島大学大学院人間社会科学研究科教育学コース内

cssse@hiroshima-u.ac.jp

2024年11月23日（土）、24日（日）の両日、岡山大学を大会会場に中国四国教育学会第76回大会を対面形式にて開催することができました。ご参加いただいた多くの会員の皆様にお礼を申し上げますとともに、会場校をお引き受けいただいた大会実行委員会委員長の尾島卓先生をはじめ、実行委員の先生方、そして運営面で大会を支えていただいた院生や学生の皆様に深く感謝申し上げます。また、岡山大学教育学部長の高瀬淳先生には、総会にて学会を励ましていただきご挨拶をいただきました。あらためて感謝申し上げます。

大会に先立ちまして22日（金）に理事会を開催し、本学会の今後の課題について議論を行いました。直近の課題は運用開始した会員管理システム「シクミネット」を定着させることですが、『教育学研究紀要（CD-ROM版）』のオープン・アクセス化に向けた手続き、持続可能な学会運営のあり方（学会事務局の体制、会場校の負担軽減など）、会員減少傾向への対応（資格維持のメリットなど）他、本学会の存在価値にかかわる重要な課題について意見交換をいたしました。今後、これらの課題に向き合う所存です。会員皆様のお考えを是非ともお聞かせください。

23日と24日には、28部会で163件（7件辞退を含む）の自由研究発表が行われました。また大会校企画の公開シンポジウムと5件のラウンドテーブルもあわせて実施され、2日間で正会員200名、臨時会員82名と多くの参加者をえて盛大な研究大会となりました。大会1日目の午後に開催されたシンポジウムには会場に80名のご参加をいただきました。登壇者としてマルテ・ブリンクマン（Malte Brinkmann）先生（フンボルト大学ベルリン）、前田秀雄先生（書家・篆刻家、岡山大学非常勤講師）、渡部信一先生（東北大学名誉教授）には岡山大学まで足を運んでいただき、貴重な提案をいただきました。先生方のご提案により活発な論議が生まれ学会の研究活動にたいへん刺激をいただきました。あらためて感謝申し上げます。

その後の総会において、次年度2025年の第77回大会は高知工科大学永国寺キャンパスを会場として開催されることが決まりました。

次の大会も本年度と同様に充実した大会になることを祈念するとともに、大会会場にて皆様とお会いできることを心待ちにしております。

【会長・丸山恭司】

○自由研究発表・シンポジウム・ラウンドテーブル

大会 2 日間を通して、計 28 部会で 163 件（取消 7 件を含む）の自由研究発表が行われ、各部会において活発な議論が交わされました。

大会 1 日目の午後に開催されたシンポジウムには、80 名の参加者がありました。司会の尾島卓会員（岡山大学）、梶井一暁会員（岡山大学）により趣旨説明がなされた後、登壇者であるマルテ・ブリンクマン氏（フンボルト大学ベルリン）、前田秀雄氏（書家・篆刻家、岡山大学非常勤講師）、渡部信一氏（東北大学名誉教授）より、「デジタル時代の身体性・学習・教育—その可能性と課題」（ブリンクマン氏）、「筆と iPhone」（前田氏）、「AI と「学び」、そして身体性」（渡部氏）を演題とする報告がなされました。続けて司会者・提案者を交えて議論を行いました。

大会 2 日目の午後には、5 件のラウンドテーブルが開催されました。

○理事会・総会報告

理事会は、大会前日の 11 月 22 日（金）18 時から岡山大学教育学部にてハイブリッド形式で開催され、役員 9 名と次期大会校実行委員 1 名、事務局幹事 4 名が出席し、総会に提出する事項についての審議等が行われました。

総会は、大会 1 日目に開催されました。教育学部長の高瀬淳先生よりご挨拶をいただいた後、議長団（木下博義会員〈広島大学〉、四宮貴久会員〈環太平洋大学〉）による進行のもとで、事務局から各種報告が行われました。続いて 2023 年度決算報告・会計監査報告、2024 年度予算案・中間決算報告、次年度大会校についての審議がなされ、全て原案通りに承認されました。また、会則の改訂並びに『教育学研究紀要』（CD-ROM 版）のオープンアクセス化について審議されました。会則の改訂については理事選出の方法と編集委員長任期に係る会則第 16 条の改訂が原案通りに承認され、『教育学研究紀要』（CD-ROM 版）のオープンアクセス化についても、会員からのパブリックコメントを収集したうえで理事会と編集委員会を中心に検討していくという方針が承認されました。総会の進行は以下のとおりです。

中国四国教育学会・総会

1.	大会校 学部長挨拶	(岡山大学教育学部長	高瀬 淳)
2.	会長挨拶	(会 長	丸山 恭司)
3.	大会校挨拶	(実行委員長	尾島 卓)
4.	議長団選出	(事務局長	曾余田浩史)
5.	報告事項		
	(1) 事業・会議報告	(事務局長	曾余田浩史)
	(2) 研究推進事業報告	(事務局長	曾余田浩史)
	(3) 編集委員会報告	(編集委員長	中坪 史典)
	(4) その他		
6.	審議事項		
	(1) 2023 年度決算報告・会計監査報告	(事務局長	曾余田浩史)
		(監 査	小宮山道夫)
	(2) 2024 年度予算・中間決算報告	(事務局長	曾余田浩史)
	(3) 次年度大会開催校および副会長・役員の交代	(会 長	丸山 恭司)
	(4) 会則の改訂について	(事務局長	曾余田浩史)
	(5) 『教育学研究紀要』（CD-ROM 版）のオープンアクセス化について	(事務局長	曾余田浩史)
	(6) その他		

○次年度大会のお知らせ

次年度の第 77 回大会は、高知工科大学永国寺キャンパスを会場として開催される予定です。詳細は年度明けにご案内します。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

2023年度決算報告

(事務局幹事 中村好甫)
2023年4月1日～2024年3月31日

《前年度繰越金》		8,113,094		
《収入》				
項目		予算	決算	予算-決算
学会費		3,440,000	2,680,000	▲ 760000
内訳：	2023年度 (5,000円)	545 名： 2,725,000	493 名： 2,465,000	▲ 260000
	2024年度以降 (5,000円)	76 名： 380,000	2 名： 10,000	▲ 370000
	過年度 (5,000円)	67 名： 335,000	41 名： 205,000	▲ 130000
『教育学研究紀要』(CD-ROM版) 掲載費		525,000	425,000	▲ 100000
内訳：	個人研究 (5,000円)	87 件： 435,000	73 件： 365,000	▲ 70000
	共同研究 (5,000円)	18 件： 90,000	12 件： 60,000	▲ 30000
その他収入		9,250	14,770	5520
内訳：	預金利子	50	60	▲ 350000
	CD-ROM・ジャーナル売上	9,200	4,710	▲ 350000
	寄付等			
	上記以外		10,000	5000
収入合計		3,974,250	3,119,770	▲ 854480
	収入(繰越金含)	12,087,344	11,232,864	▲ 974480
《支出》				
項目		予算	決算	予算-決算
第75回大会経費		440,000	342,500	97500
内訳：	会場校補助金	260,000	260,000	0
	会場使用料	50,000	0	50000
	プログラム作成費	60,000	82,500	▲ 22500
	シンポジウム要旨集印刷費	60,000	0	60000
	会議費	10,000	0	10000
『教育学研究ジャーナル』刊行費		920,000	808,208	111792
内訳：	印刷・J-STAGE掲載経費	670,000	598,180	71820
	会議費	20,000	0	20000
	編集作業人件費	30,000	12,028	17972
	委託費(査読サポート運用)	200,000	198,000	2000
『教育学研究紀要』(CD-ROM版) 刊行費		476,000	418,500	57500
内訳：	CD-ROM制作費	376,000	401,500	▲ 25500
	冊子体制作費	0	0	0
	編集・校正作業人件費	100,000	17,000	83000
研究推進費		600,000	600,000	0
内訳：	「課題研究」助成金(100,000円/件)	6 件： 600,000	6 件： 600,000	0
事務局会議費(理事会、拡大事務局会議等)		40,000	1,794	38206
事務局旅費		23,000	17,080	5920
封筒印刷費		33,000	8,800	24200
通信発送費		200,000	118,545	81455
会員管理システム利用費		810,000	807,631	2369
振込手数料負担金		20,000	1,065	18935
事務局人件費(含源泉徴収税、労災保険料)		990,000	1,081,156	▲ 91156
消耗品費		40,000	17,443	22557
会長選挙実施関連経費		0	0	0
予備費		217,600	187,988	29612
内訳：	事務局からの銀行振込手数料、PCその他	217,600	187,988	29612
支出合計		4,809,600	4,410,710	398890
	(純収入との差額)	▲ 835,350	▲ 1,290,940	455590

【赤字の理由】

- 理由：例年とは異なる支出が多く伴ったため
- ①シクミネット導入に伴う、初期費用(327,151円)
 - ②2023年度はシクミネット移行期間として、通信発送等の予算を例年通り確保したため、20万円を計上(最初の予定では100,000円)
 - ③事務局体制の変更のため、PCを新規購入した(167,600円)
 - ④課題研究が昨年度は4件採択したため、例年より20万円増額
 - ⑤シクミネット導入による学会費の入金タイミングの変化によって、収入が例年より減額したため

【次年度繰越金】

収入 - 支出 = 11232864 - 4410710 = 6,822,154 (次年度繰越金)
 純収入 - 純支出 = 3119770 - 4410710 = ▲ 1,290,940 (純利益)

寄 贈 図 書

(2023.12.01～2024.11.30)

○図書

- ・ 齋藤眞宏会員（旭川市立大学）、大坂遊会員（周南公立大学）、渡邊巧会員（広島大学）、
 草原和博会員（広島大学）より寄贈
 齋藤眞宏、大坂遊、渡邊巧、草原和博編著『セルフスタディを实践する：教師教育者による研究と専門性開発のために』学文社、2024年3月
- ・ 三村和則会員（沖縄国際大学）より寄贈
 グンター・ドレスラー著、三村和則訳『東ドイツ小都市ブールの総合技術授業 1958年-1989年：人格の全面発達をめざした教育の実相』教育評論社、2023年12月

○紀要・ニュースレターなど

- ・『東北教育学会研究紀要』第27号、東北教育学会、2024年3月10日
- ・『中部教育学会紀要』第24号、中部教育学会、2024年6月30日
- ・『関西教育学会研究紀要』第24号、関西教育学会、2024年9月30日